

**広島県立福山誠之館高等学校校舎（2号棟）改築工事
に伴う実施設計業務の設計者選定結果について**

1 選定結果

広島県立福山誠之館高等学校校舎（2号棟）改築工事に伴う実施設計業務の設計者選定について、公募型プロポーザルを実施した結果、次のとおり、設計者の候補者として、特定者と次点者を特定しました。

特定者	大旗連合建築設計株式会社
次点者	株式会社エヌ・エス・ピー

2 審査経過等

(1) 設計者選定審査委員会

専門知識を有する学識経験者、実務経験者、施設管理者及び行政職員等で構成する「広島県立福山誠之館高等学校校舎（2号棟）改築工事に伴う設計者選定審査委員会」（以下、「設計者選定委員会」という）を設置し、技術提案書の特定等に係る審査を行いました。

[設計者選定委員会委員（順不同・敬称略）]

委員区分	氏名	役職等	審査の視点
委員長	森保 洋之	広島工業大学 名誉教授	建築計画
委員	千代章一郎	広島大学大学院 准教授	建築意匠
委員	山田 暁	公益社団法人日本建築家協会 中国支部長	建築デザイン
委員	島村 隆義	国土交通省中国地方整備局営繕部 整備課長	営繕行政
委員	三好 豊彦	福山市建設局 建築部長	まちづくり
委員	河原 直己	広島県土木局 建築技術部長	建築行政
委員	山口 哲治	広島県立福山誠之館高等学校 校長	施設管理者

(2) 審査概要

ア 技術提案書の提出者の選定（一次審査）

10者（辞退した1者を除く）から提出された参加表明書を審査し、参加資格等の確認と共に、技術提案書の提出者の選定（10者）を行いました。

イ 技術提案書の特定（二次審査）

10者から提出された技術提案書を審査し、技術提案書の特定（特定者1者及び次点者1者）を行いました。

[審査経過]

平成25年5月31日	第1回設計者選定委員会	・審査基準の策定
平成25年6月7日	公募型プロポーザルの公告	
平成25年6月21日	参加表明書の提出期限	・提出者11者 (内、設計共同体1者) ・後日1者が辞退し、10者となる。
平成25年6月26日	第2回設計者選定委員会	・技術提案書の提出者の選定（10者）
平成25年7月1日	技術提案書の提出要請	

平成25年 7月17日	技術提案書の提出期限	・提出者10者
平成25年 7月25日	第3回設計者選定委員会	・公開ヒアリング ・技術提案書の審査, 特定
平成25年 8月下旬	設計業務委託契約締結 (予定)	

3 技術提案書の講評

(1) 総評

今回のプロポーザルは、160年の歴史を誇る高等学校の管理教室棟を建替えるための技術提案を対象としたものでした。

技術提案書の特定にあたっては、業務の理解度・実施方針、このうち特に、規模・コスト等の条件の確認、“新たな伝統校誠之館の創造”に向けた施設づくりのあり方や、既存建物とのつながりを考慮した豊かな精神を育む憩い空間のあり方といった2つの特定テーマ、さらに、設計業務上のパートナーに係る考え方、等々に対して、技術提案書の審査やヒアリングを行いました。

結果として、各者とも、それぞれの思いを反映させた意欲的な技術提案となっていました。

しかし、全体として、学びに関する提案が少なかった、小中学校と高等学校の異なる点をもっと掘り下げて検討するなどの提案が欲しかったとする意見がありました。また、既存建物とのつながりを考慮した憩い空間のあり方を中心に提案し、この度、建て替える管理教室棟自体の計画的提案が少ない者があったとする意見もありました。

(2) 特定者

業務の理解度・実施方針について、いずれも高く評価されました。

2つの特定テーマそれぞれに対して、「軸」、「囲い」といった分かりやすい考え方を提示し、それに基づき明快に説明しており、いずれも高く評価されました。

特に、特定テーマの既存建物とのつながりについて、周辺環境や既存建物との関係性がよく配慮されていた点は評価されました。

さらに、学校のイメージをよく考えて、形に示そうとする誠意が感じられたことや、他者のプレゼンテーションでは、「学び」に対する提言があまり見られなかった中で、「学び」についてしっかりと提言されていたとする意見がありました。

総じて、設計業務上のパートナーとして、高く評価される提案でありました。

今後の設計にあたっては、「コミュニケーションBOX」等の提案する空間が、使われない空間にならないよう、しっかりと検討し、活用されるものにして欲しいという意見がありました。

(3) 次点者

業務の理解度・実施方針について、いずれも高く評価されました。

特定テーマ、それぞれに対して、明快な考え方が提案されており、いずれも高く評価されました。殊に、「軸」といった明快な提案が生きていました。

なお、特定テーマの既存建物とのつながりについて、特定者と同様に、周辺環境や既存建物との関係性に配慮した点が評価されました。

さらに、学校のイメージをよく考えて、形に示そうとする誠意が感じられたという意見や、盛りだくさんの提案内容であり、興味深い提案となっていたという意見もありました。

総じて、設計業務上のパートナーとして、高く評価される提案でありました。